## リハビリテーション総合実施計画書

計画評価実施日 年 月 日

患者氏名 男・女 生年月日 (明・大・昭・平・令) 年 月 日( 歳) 利き手 右・右(矯							- (4香コ	=).+:														
		11 40 V E	1	カ	_			中月 口(		, • µp	+		T	Л	- 1		•	府文)		41.4	【/向川	_) • 庄
主治		リハ担当医	<u> </u>	^		РΤ		3 A ==	OT	ь		ST	Ļ	at v		看		在 口舌座	SW等		. HERE	
原因疾患(発症・受傷日) 合併疾患・コントロール状態 (高血圧, 心疾患, 糖尿病等)   帰用症候群 □軽度 □中等度 □重度 リハビリテーション月 □起立性低血圧 □静脈血栓									歴													
日常	生活自	立度: J1, J2, A1, A2	, В	1, B	2, C	1,	C2	認知	症高歯	<b>静者</b>	の日常	常生活自	寸.	度半	间定	基	準	: I , II a,	Пь, Ша,	∭b, IV,	M	
	評価項目・内容(コロン(:)の後に具体的内容を記入)																					
	□意識障害:(3-3-9: ) □認知症:									□知覚№	]知覚障害(□視覚,□表在覚,□深部覚,□その他: )											
心身機能・構造	□知的障害: □精神障害:										□音声·発話障害(□構音障害,□失語症)(種類: □失行·失認:							)				
	(ステージ・グレード)右上肢・ 右手指・ 右下肢・ 「							ストースに 現食機能障害: □排泄機能障害:														
	左上肢: 左手指: 左下肢: □										呼吸·循環機能障害:											
	□不随意運動・協調運動障害: □褥瘡:																					
	基 立位保持(装具: ) □手放し、□つかまり、□不可本 平行棒内歩行(装具: ) □独立、□一部介助、□全介助									」/≯/用:	]疼痛:											
	動 訓練室内歩行(装具: ) □独立 ,□一部介助,□全介助																					
	作 日常生活(病棟)実行状況:「している"活動"」 訓練時能力:「できる												'活動"」									
		自立度			-	全	非						独	監		全		11000	,, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	11127		
	ADL・ASL等												. 姿勢·	実行場所								
	AL	DL•A2L等	立	視	助.	助	施	杖·装具	· )î	「助円	谷	等	立	視		助	施	权•装具	介助内	谷	等	
	屋外步 階段昇							杖•装具: 杖•装具:										杖•装具: 杖•装具:				
	廊下步	行						杖•装具:										杖•装具:				
		(レへの歩行 ſレへの車椅子駆動(昼)	L		ll			杖•装具: 装具:					<b> </b>	<b>!</b>				杖•装具: 装具:				
		・・ベッド間移乗						装具:										装具:				
活		≦位保持 己き上がり	ļ		<u>                                     </u>			装具:					<u> </u>					装具:				
動	食事 排尿(	昼)						用具: 便器:										用具: 便器:				
	排尿( 整容	夜)	<b> </b>					便器: 移動方法・	<b>炎勢</b> ·				<u> </u>	<del>  </del>				便器: 移動方法・	<b>炎勢</b> ·			
	更衣	te Vent						姿勢:	<i>χ</i> η.									姿勢:	5,77.			
	装具・□ 入浴	靴の着脱						姿勢: 浴槽:										姿勢: 浴槽:				
		ニケーション																				
	コミユー	-/) — VaV																				
	活動度 日中臥床: □無, □有(時間帯: 理由 ) 日中座位: □椅子(背もたれなし), □椅子(背もたれあり), □椅子(背もたれ, 肘うけあり), □車椅子, □ベッド上, □ギャッチアップ																					
	身長 <sup>#1</sup>	·( )cm. 体	:重	. (				) kg. BM	I <sup>#1</sup> : (			)kg/m	2 #	1 身 1	長測	定が	3 田 章	維か場合ける	省略可			
	栄養補職下課	:( )cm,体 i給方法(複数選択可) i整食の必要性・□無	): #		経口	([ 学:	] () ()	・事, □ ・新コー	補助1 、·	食品	), [	」経管5	<b>长養</b>	, [	口計	争肵	栄	養(口末	梢,口中	小)		
栄養	嚥下調整食の必要性: □無, □有(学会分類コード: ) 栄養状態: □問題なし, □低栄養, □低栄養リスク, □過栄養, □その他( )																					
*		なし」以外に該当した場合、」				~ Z	.14°	/匠(			) a											
	必要栄養量: ( ) kcal, たんぱく質( )g   総摂取栄養量 <sup>#2</sup> (経口・経管・静脈全て含む): ( ) kcal, たんぱく質( )g																					
	#2 入院直後等で不明の場合は総提供栄養量でも可 職業 (□無職,□病欠中,□休職中,□発症後退職,□退職予定 ) 社会参加(内容・頻度等)																					
参		(職種・業種・仕事内容:		BA I	, 🗆	<i>)</i> L /	ш	(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	X2194 .	, vr	)		[L云》/JIL [Y] 台· 與及哥/									
加											余暇	余暇活動(内容·頻度等)										
心	障害の受容(□ショック期 ,□否認期,□怒り・恨み期,																					
理	□悲観・抑うつ期, □解決への努力期, □受容期) 機能障害改善への固執(□強い, □中程度, □普通, □弱い)																					
環													家屋:									
境	親族関係:											家屋周囲: 交通手段:										
		よる家族の変化										I										
不三 利者 の	□健	会生活: 康上の問題の発生: 理的問題の発生:																				

基本方	金十	本人	の希望						
		家族の希望							
リスク・	疾病管理(含:過用・誤用)	3,000	10-11						
リハビリ	Jテーション終了の目安・時期	外泊	1訓練の計画						
	目標(到達時期)		具体的アプローチ						
	退院先 □自宅 □親族宅 □医療機関 □その他:								
	復職 □現職復帰 □転職 □不可 □その他: (仕事内容:	)							
加貝加田	通勤方法の変更 □無 □有:		!						
(宗 )	家庭内役割: 社会活動:		!						
	趣味:								
	自宅内歩行 □不可 □自立 □介助: (装具·杖等:	)	!						
	屋外歩行 □不可 □自立 □介助:	,	!						
	(装具・杖等:	)	!						
へ す	交通機関利用 □不可 □自立 □介助: (種類:	)							
~	車椅子 □不要 □電動 □手動 (使用場所:	)	!						
1 中 中		)							
動行	排泄 □自立:形態 □洋式 □和式 □立ち便器 □その他 □介助:		!						
状	食事 □箸自立 □フォーク等自立 □介助:		!						
況	整容 □自立 □介助: 更衣 □自立 □介助:								
	天代 □目立 □川切: 入浴 □自宅浴槽自立 □介助:								
	家事 □全部実施 □非実施 □一部実施:								
	書字 □自立 □利き手交換後自立 □その他: コミュニケーション □問題なし □問題あり:		!						
心	基本動作(訓練室歩行等)								
身 ##			!						
機造	要素的機能(拘縮・麻痺等)		!						
心理	機能障害改善への固執からの脱却:								
_	自宅改造 □不要 □要:								
環境	福祉機器 □不要 □要:		!						
96	社会保障サービス □不要 □身障手帳 □障害年金 □その他: 介護保険サービス □不要 □要:								
第	退院後の主介護者 □不要 □要:								
三不	家族構成の変化 □不要 □要: 家族内役割の変化 □不要 □要:								
0	家族内役割の変化 □不安 □安: 家族の社会活動変化 □不要 □要:								
退院後	又は終了後のリハビリテーション計画(種類・頻度・期間) 備考								
本人·氦	R族への説明 年 月 日 本人サイン	家	族サイン説明者サイン						

<sup>(</sup>リハビリテーション実施計画書及びリハビリテーション総合実施計画書記入上の注意)
1. 日常生活自立度の欄については、「「障害老人の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準」の活用について」(平成3年11月18日 老健第102-2号)厚生省大臣官房老人保健福祉部長通知によるランクJ1,J2,A1,A2,B1,B2,C1又はC2に該当するものであること。
2. 認知症高齢者の日常生活自立度判定基準の欄については、「「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」の活用について」(平成5年10月26日 老健第135号)厚生省老人保健福祉局長通知によるランク I, II a, II b, III a, III b, IV 又はMに該当するものであること。
3. 日常生活(病棟)実行状況:「している"活動"」の欄については、自宅又は病棟等における実生活で実行している状況についてであること。
4. 訓練時能力:「できる"活動"」の欄については、機能訓練室又は病棟等における訓練・評価時に行うことができる能力についてであること。